

平成 8 年 3 月 招 集

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（3月1日）

開 会	4
議長の報告	4
議案の配付	5
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
会議日程の決定	5
議案第1号～議案第38号（施政方針並びに提案理由の説明）	6
延 会	20
本日の会議に付した事件	21

◎第2号（3月7日）

開 議	24
議長の報告	24
行政一般通告質問	24
鈴木 順子君の質問、当局の応答	24
三上 英男君の質問、当局の応答	39
神田 守隆君の質問、当局の応答	51
植木 馨君の質問、当局の応答	67
永井 龍平君の質問、当局の応答	81
会議日程の変更	97
散 会	98
本日の会議に付した事件	98

◎第3号（3月11日）

開 議	101
議案第9号～議案第33号	102

神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 0 2
委員会付託	1 1 0
議案第 3 4 号～議案第 3 8 号	1 1 0
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 1 0
委員会付託	1 2 1
請願第 6 号	1 2 1
委員会付託	1 2 1
議長の報告	1 2 1
延 会	1 2 1
本日の会議に付した事件	1 2 2

◎第 4 号（3 月 1 2 日）

開 議	1 2 4
議案第 1 号～議案第 8 号	1 2 4
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 2 4
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	1 3 4
日程の追加・発議案第 1 号	1 3 5
説明	1 3 6
委員会付託の省略	1 3 7
神田 守隆君の討論	1 3 7
採決	1 3 8
延 会	1 3 8
本日の会議に付した事件	1 3 9

◎第 5 号（3 月 2 2 日）

開 議	1 4 4
議案の配付	1 4 4
議案第 9 号～議案第 2 2 号、議案第 3 4 号	1 4 4
総務委員会委員長報告	1 4 5

日下 君敏君の討論	1 4 6
採決	1 5 0
議案第 2 3 号～議案第 3 0 号、議案第 3 5 号、議案第 3 6 号	1 5 0
文教民生委員会委員長報告	1 5 1
採決	1 5 3
議案第 3 1 号～議案第 3 3 号、議案第 3 7 号、議案第 3 8 号	1 5 4
建設経済委員会委員長報告	1 5 4
採決	1 5 6
継続審査について（請願第 6 号）	1 5 7
議長の報告	1 5 7
議案第 1 号～議案第 8 号	1 5 7
予算審査特別委員会委員長報告	1 5 7
採決	1 6 3
特別委員会中間報告	1 6 3
館山駅周辺整備調査特別委員会中間報告	1 6 4
館山湾整備調査特別委員会中間報告	1 6 5
地域医療問題調査特別委員会中間報告	1 6 6
議案第 3 9 号	1 6 7
説明	1 6 7
委員会付託の省略	1 6 8
採決	1 6 8
議案第 4 0 号	1 6 9
説明	1 6 9
委員会付託の省略	1 6 9
採決	1 7 0
発議案第 2 号	1 7 0
説明	1 7 0
委員会付託の省略	1 7 1
採決	1 7 2

閉　　　　会	1 7 2
本日の会議に付した事件	1 7 2

第 1 回館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 平成8年3月1日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番	辻田	実	2番	本橋	亮一
3番	三上	英男	4番	小幡	一宏
5番	忍足	利彦	6番	鈴木	順子
7番	斉藤	実	8番	増田	基彦
9番	島田	保	10番	宮沢	治海
11番	秋山	光章	12番	植木	馨
13番	脇田	安保	14番	永井	龍平
15番	山崎	雅己	16番	鈴木	忠夫
17番	岩村	勝弘	18番	日下	君敏
19番	川名	正二	20番	神田	守隆
21番	山中	金治郎	22番	榎本	春光
23番	石井	昌治	24番	福原	勤
25番	飯田	義男			

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市	長	庄司	厚						
収	入	役	川上	義雄					
総	務	部	長	神子	純一				
経	済	環	境	部	長	小沼	晃		
水	道	課	長	谷貝	実				
教	育	委	員	会	長	高橋	博夫		
選	挙	管	理	委	員	会	長	寺嶋	清
監	事	務	局	書	記	田村	哲也		

助	役	小幡	清之						
企	画	部	長	永野	修				
市	民	福	祉	部	長	渡辺	富雄		
建	設	部	長	三平	孝司				
教	育	委	員	会	長	藤田	尚正		
選	挙	管	理	委	員	会	長	加藤	利
監	査	委	員	山田	教和				
農	業	委	員	会	長	斉藤	明		

農 業 委 員 会
事 務 局 長 佐久間 宏

1 出席事務局職員

事 務 局 長 兵藤 恭一	事 務 局 長 補 佐 鈴木 哲
書 記 四ノ宮 朗	書 記 安田 仁一
書 記 小山 真	書 記 松浮 郁夏

1 議事日程（第1号）

平成8年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 議案第 1 号 平成8年度館山市一般会計予算
- 議案第 2 号 平成8年度館山市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 3 号 平成8年度館山市老人保健特別会計予算
- 議案第 4 号 平成8年度館山市ユースホステル特別会計予算
- 議案第 5 号 平成8年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
- 議案第 6 号 平成8年度館山市下水道事業特別会計予算
- 議案第 7 号 平成8年度館山市水道事業特別会計予算
- 議案第 8 号 平成8年度館山市国民宿舎事業特別会計予算
- 議案第 9 号 千葉県市町村公平委員会共同設置規約の変更に
関する協議について
- 議案第10号 千葉県市町村総合事務組合規約の変更に
関する協議について
- 議案第11号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償
に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて
- 議案第12号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関す
る条例の一部を改正する条例の制定について

日程第 4

- 議案第 1 3 号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 4 号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 5 号 財産の取得について
- 議案第 1 6 号 財産の無償譲渡について
- 議案第 1 7 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 1 8 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 1 9 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 2 0 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 2 1 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 2 2 号 民事調停の申立てについて
- 議案第 2 3 号 安房南部伝染病隔離病舎組合を組織する市町村数の減少及び安房南部伝染病隔離病舎組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 議案第 2 4 号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 5 号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 6 号 館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 7 号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 8 号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 9 号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第30号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定
について
- 議案第31号 館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部
を改正する条例の制定について
- 議案第32号 館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条
例の制定について
- 議案第33号 市道路線の認定について
- 議案第34号 平成7年度館山市一般会計補正予算（第5号）
- 議案第35号 平成7年度館山市国民健康保険特別会計補正予
算（第2号）
- 議案第36号 平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算
（第2号）
- 議案第37号 平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算
（第3号）
- 議案第38号 平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算
（第2号）

開 会 午前10時07分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数25名、これより平成8年第1回市
議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規
定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、
御了承願います。

なお、市長から地方自治法第180条の規定による専決処分、監査委員から
定期監査並びに平成7年12月及び平成8年1月実施の監査結果が報告されて
おります。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはありませんか。―― 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（辻田 実君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

6番議員鈴木順子さん、19番議員川名正二さん、以上兩名を指名いたします。

会期の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営委員会の意見は本3月1日から3月22日までの22日間ということであります。

お諮りいたします。会期を22日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月22日までの22日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営委員会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間、議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、議案第1号乃至議案第38号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長（辻田 実君） これより平成8年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日ここに3月定例市議会を招集し、平成8年度の一般会計及び特別会計の予算案を初めとする諸議案等につきまして御審議をお願いするに当たり、新年度の市政運営の所信と施策の概要を申し上げ、議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

最近の我が国経済は、経済対策の実施等による公共投資の増加とともに、個人消費や民間設備投資に緩やかな回復傾向が見られるようになってきております。

しかしながら、財政につきましては、公債残高が平成7年度末には約222兆円に増加する見込みであり、国債費が政策的経費を圧迫するなど、構造的にますます厳しさを増している状況にあります。

こうした中で、館山市を取り巻く状況は、東京湾横断道路が平成9年の完成を目指し、また館山自動車道も千葉・木更津間が昨年開通するなど、着々とその工事が進められております。あわせて、南房総広域水道企業団による水道用水供給事業は本年10月に通水の予定となっております。

館山市が県南の中核都市として一層飛躍する時期を迎えようとしております。

また、平成8年度は、21世紀を展望した館山市基本構想における第3期基

本計画がスタートする重要な年でございます。

私は、「人間尊重」を基本理念に、「市政は市民とともにある」という政治姿勢のもと、市民が館山に生まれ育ったことへの誇りを持ち、これからも住み続けたいと思える「ふるさと館山」を築くため、これまで進めてまいりました都市基盤の整備、産業の振興、福祉の向上、教育文化・スポーツの振興などの諸施策を一層推進するとともに、基本構想に掲げられた将来都市像である「活力ある文化福祉都市」の実現を目指し、適切で効率的な市政運営に努めてまいります。

以下、主要施策につきまして順次御説明申し上げます。

第1は、「快適でゆとりある生活環境都市づくり」でございます。

市民生活における利便性・快適性・安全性に配慮した都市環境を創出するため、都市基盤の年次的な整備充実に努めているところでございます。

まず、道路交通網の整備についてでございますが、東京湾横断道路が平成9年の完成を目指して工事が進められるとともに、館山自動車道は、千葉・木更津間が昨年7月に開通し、木更津・富津間についても引き続き整備されることとなっております。また、富津・館山間については、高規格 127号富津館山道路として、第11次道路整備5カ年計画内の完成を目指して整備が進められております。

これら広域幹線道路の整備に伴う国・県道の整備につきましては、関係行政機関に働きかけるとともに、都市計画道路青柳大賀線等につきましても、その整備促進に努めてまいります。

市民生活に密着した市道等の整備につきましては、主要路線の改良を行うとともに、生活道路の舗装及び側溝や河川等を整備し、生活環境の向上に努めてまいります。

市街地の整備でございますが、良好な居住環境と健全な都市機能を確保するため、都市計画法の改正に伴い、新たな用途地域の指定を行います。

館山駅西口地区土地地区画整理事業につきましては、都市計画道路や交通広場等の築造や建物移転を引き続き実施し、事業の早期完成に努めます。

館山駅橋上駅舎及び自由通路の建設につきましては、関係機関との協議を

進めるとともに、詳細設計を行い、西口地区土地区画整理事業及び公共下水道事業との整合を図りながら、その早期完成を目指してまいります。

東口地区の市街地整備事業につきましては、引き続き権利者の合意形成に努力いたします。

公園の整備でございますが、総合的、計画的な緑地の保全、緑化の推進を図るため、「緑の基本計画」を策定いたします。

城山公園につきましては、景観整備のための植栽を引き続き行うとともに、那古山につきましても、遊歩道や展望台の整備を行います。

上水道の整備についてでございますが、南房総広域水道企業団による水道用水供給事業が進展し、本年10月には通水の予定でございます。これに合わせ、館山市水道第3次拡張事業や三芳水道企業団第2次拡張事業を推進し、給水体制等の整備に努めてまいります。

公共下水道事業につきましては、終末処理場「鏡ヶ浦クリーンセンター」の建設工事や汚水管渠工事も計画どおり進んでおります。今後とも、早期供用開始に向け、事業を推進してまいります。

都市下水路等の整備につきましては、那古下水路等を整備し、公共下水道雨水計画との整合を図りつつ、計画的に取り組んでまいります。

消防・防災対策についてでございますが、防災では、「館山市地域防災計画」の見直しを行います。また、防災行政無線を内陸部に増設するための調査を実施するとともに、備蓄倉庫の設置や毛布などの防災用資機材の備蓄に努めます。さらに、校舎や園舎のガラス飛散防止工事を引き続いて行うとともに、耐震診断講演会の開催、木造住宅を耐震診断するための相談窓口の開設及び公共施設の耐震診断を実施いたします。

さらに今後も自主防災組織の育成強化に努めながら、災害に強い館山を目指してまいります。

また、消防では、消防装備等の充実や消防水利の増強を図るとともに、広報活動や火災予防運動を通じて市民の防火意識の高揚に努めてまいります。

交通安全対策につきましては、交通安全教育の徹底を図り、交通安全思想の普及に努めるとともに、自転車利用者等の利便性の向上と安全確保のため、

J R 那古船形駅及び九重駅に自転車駐車を整備いたします。

環境対策につきましては、引き続き那古地区生活排水処理施設の建設を行うとともに、合併処理浄化槽設置に対する助成を継続いたします。また、ごみ処理につきましては、減量化に努めながら、新リサイクル法実施に向けた分別収集の拡大に取り組んでまいります。さらに、市民の協力のもとに展開している「クリーン・アンド・ビューティフル運動」を推進するなど、環境の保全に配慮した清潔で美しいまちづくりを進めてまいります。

第2は、「温かい心のかよう健康福祉都市づくり」でございます。

市民すべてが健康で生きがいを持って生活できることが明るく活力に満ちた地域社会を形成するものと考えます。

まず、健康づくりでございますが、健康に対する正しい知識の普及と意識の高揚を図りながら、各種検診の内容の充実と受診率の向上に努めてまいります。

救急医療を含む医療体制の充実につきましては、安房医師会病院の建設を関係機関と協力して支援してまいります。

スポーツ・レクリエーション施策につきましては、市民が楽しく気軽に参加できるスポーツ教室の開催や、スポーツ団体及び指導者を育成し、生涯スポーツの普及に努めるとともに、50メートルプールなどの施設整備を行います。

また、年々参加者が増加する「館山若潮マラソン大会」や「若潮旗争奪全国高校剣道大会」などを引き続き開催し、市民の体力づくりと館山市のイメージの向上に努めてまいります。

市民福祉につきましては、「ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会」を実現するため、社会福祉協議会と協力しながら地域のボランティア活動を促進するなど、地域ぐるみの福祉活動を積極的に推進してまいります。

特に本年度は、福祉の充実を図るため、市民センターを地域福祉センターの機能を有する施設として整備し、その有効活用に努めてまいります。

「館山市老人保健福祉計画」の推進につきましては、計画に掲げられた各施策を積極的に展開してまいります。本年度は、計画内容等の見直しを行う

とともに、ひとり暮らしの高齢者等の健康の維持増進を図るため、「生活援助型配食サービス」を実施いたします。

さらに、健康教育等指導事業及び機能訓練事業などを継続して実施するとともに、ホームヘルパーを増員するなど、きめ細かな施策の推進を図り、住みよい福祉のまちづくりを進めてまいります。

第3は、「地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくり」でございます。

学校教育につきましては、自主的精神に満ちた心身ともに健康な児童・生徒を育成し、個性と能力に応じた教育を受けられるよう、教育環境の整備を推進しているところでございます。

まず、校舎等の整備でございますが、豊房小学校の校舎改修と増築を行うとともに、昭和46年以前に建設された北条及び神戸小学校の校舎耐震診断を実施いたします。

教育内容等の充実につきましては、児童・生徒がみずから必要な情報を収集、選択し、活用する能力を育てるため、教育用パーソナルコンピュータを引き続き導入するとともに、学校図書館図書の整備を進めてまいります。また、開かれた教育を目指した社会人活用事業や、国際的視野に立った教育を推進するための外国人教師の配置などを行ってまいります。

生涯学習につきましては、市民生活において「ものの豊かさ」から「こころの豊かさ」を求めるなど、市民一人一人の価値観が高度化、多様化しております。

このため、「いつでも、どこでも、だれでも、たのしく」学ぶことができるよう、施設整備や学習機会の提供、組織の充実に努めているところでございます。

本年度は、生涯学習にかかわる総合的な学習体系を確立するため、「生涯学習基本構想・基本計画」を策定いたします。また、創意工夫を凝らした公民館講座の実施、図書館図書の充実や博物館における企画展等の開催など、生涯学習活動を推進するとともに、青少年が自主性と社会性を備え、たくましく成長できるよう、家庭や学校、地域との連携強化による青少年の健全育

成に努めてまいります。

豊かな文化の創造でございますが、「（仮称）県立南地域文化ホール」が本年度内に完成いたします。このため、文化ホールとの一体性の確保や効果的な利用を目的に、コミュニティセンター西側用地を駐車場等として整備するとともに、文化ホールの利用促進について検討してまいります。

また、市民が日常生活の中でさまざまな文化に接する機会を提供するため、「薪能」や「南房総フィエスタ」などを継続して開催いたします。

国際交流でございますが、「館山国際交流協会」を中心とした市民レベルでの交流事業を支援するとともに、姉妹都市とのスポーツ・文化交流を推進してまいります。

第4は、「創造力と活力に満ちた産業都市づくり」でございます。

社会経済状況が大きく変動する今日、これに対応した生産基盤の整備、経営体質の強化や地域特性を持った産業の振興に努める必要があります。

このため、館山自動車道などの広域幹線道路の整備による館山市の各産業への影響調査と産業振興方策の策定を行います。

「ウエルネスリゾートパーク計画」につきましては、企業参画の誘導を図るため、需要予測や事業化の手法等を検討する「ウエルネスリゾートパーク事業予測基本調査」を実施いたします。

また、用地取得につきましては、現在51.5%となっておりますが、引き続き用地の取得を進めてまいります。

「ビーチ利用促進モデル事業」につきましては、一部工事が着手されたところでございますが、今後も関係者の御協力を得ながら、国・県と連携し、館山港海岸周辺地域を一体的に整備すべく推進してまいります。

農業についてでございますが、農業経営の根幹でありますほ場や広域農道整備事業を初めとする農道等、生産基盤の整備を進めてまいります。

また、経営の近代化、生産性の向上を目指した花卉団地育成事業などを継続して実施し、地域の特性を生かした農業の活性化に努めてまいります。

水産業でございますが、漁港及び関連施設の整備を図るとともに、魚介類の種苗放流、魚礁の設置など、「つくり育てる漁業」を推進してまいります。

商工業につきましては、活力ある商店街の形成や工業の振興を図るため、経営の合理化、近代化のための融資や利子補給制度の拡大、充実に努めてまいります。

特に商業につきましては、「館山商工会議所」等各関係団体と連携し、既存商店街の活性化対策に取り組むとともに、商業環境の整備を推進してまいります。

雇用の場の確保と地域経済振興の核となる「館山工業団地」につきましては、早期実現に向け努力してまいります。

観光についてでございますが、恵まれた自然環境を生かしつつ、交流人口増加の核となるウェルネスリゾートパーク計画やビーチ利用促進モデル事業を推進するとともに、観光受け入れ施設の整備や海岸、道路の美化に努め、通年型、滞在型観光の振興を図ってまいります。

また、「館山市観光協会」等各関係団体と連携して、観光キャンペーンなど積極的なPRの展開と各種観光イベントの充実を図るとともに、まち全体で館山市に訪れる人々を温かく迎えるための意識の醸成に努め、「南房総たてやま」のイメージアップに努力してまいります。

第5は、「自立と連帯で築くコミュニティ都市づくり」でございます。

これまでの間、市民と行政が一体となった市民参加のまちづくりと人間性あふれる温かな地域社会の形成を基調としたコミュニティづくりの推進に努めてまいりました。

今後も、市民自治の確立を目指したコミュニティ活動を推進するため、コミュニティ集会施設整備等への補助や活動の援助を行うとともに、地域リーダーの養成に努めてまいります。

広報活動につきましては、市民等への情報発信と高度情報化に対応するため、本年1月にインターネットに加入いたしました。今後も積極的に、館山市の観光情報を初め各種の情報発信などについて、その利用促進を図ってまいります。また、広報「だん暖たてやま」やグラフ紙「ルックたてやま」の充実を図るとともに、昨年度から引き続き、館山市の自然や文化などを映像や音声で紹介する広報ビデオを制作いたします。

以上申し上げました諸施策を遂行するための財源につきましては、社会経済情勢や国・県の予算編成の動向、本市の現状及び過去の収入実績などを十分配慮し、計上いたしました。その結果、平成8年度館山市一般会計歳入歳出予算の総額は154億8,300万円となり、前年度予算に対し6億6,200万円、4.1%の減となっております。

次に、債務負担行為といたしまして、コミュニティセンター駐車場及び市道整備事業、ウエルネスリゾートパーク用地取得事業等4件につきまして設定いたしました。市債といたしましては、上水道事業、道路橋梁整備事業、減税補てん債等14件を予定し、一時借入金につきましては、最高額を15億円といたしました。

以上が議案第1号の概要でございますが、次に議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号平成8年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきましては、医療費及び老人保健拠出金の過去の実績等を考慮し、計上いたしました。歳入につきましては、一般会計等から所要の繰り入れ措置を講じ、歳入歳出それぞれ36億8,206万余円を計上いたしました。

次に、議案第3号平成8年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金2億9,387万余円を含めまして、歳入歳出それぞれ56億4,480万余円を計上いたしました。

次に、議案第4号平成8年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2,919万円を計上いたしました。

次に、議案第5号平成8年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ100万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号平成8年度館山市下水道事業特別会計予算でございますが、歳出といたしまして、引き続き終末処理場の建設工事、汚水管渠の築造工事、千葉県地方土地開発公社へ先行取得を委託しました終末処理場の用地購入費等を計上いたしました。歳入といたしましては、一般会計からの繰入金5億6,930万余円を含めまして、国・県補助金、市債を見込み、歳入歳出

それぞれ34億 2,262万円を計上いたしました。また、市債といたしまして、終末処理場建設工事等の下水道事業につきまして設定いたしました。

次に、議案第7号平成8年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料、受託工事収益等で8億 899万余円、収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で8億 2,036万余円、また資本的収入といたしまして、企業債、国庫補助金及び一般会計からの出資金等で7億 3,083万余円、資本的支出といたしまして、第3次拡張事業等に伴う建設改良費及び企業債償還金等で8億 8,512万余円を計上いたしました。

次に、議案第8号平成8年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料、食事料等で2億 3,516万余円、収益的支出といたしまして、営業費用等で2億 3,473万余円、資本的支出といたしまして、建物附属設備改修工事費等で638万余円を計上いたしました。

以上、各会計の平成8年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計を合わせた予算総額は302億 928万余円となり、前年度予算に対し15億 4,789万余円、4.9%の減となっております。

次に、議案第9号千葉県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議についてでございますが、平成8年4月1日付をもって印西町が市制施行されることに伴い、千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正しようとするため、地方自治法第252条の7第2項の規定により、千葉県市町村総合事務組合長から協議があったものでございます。

次に、議案第10号千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議についてでございますが、平成8年4月1日付をもって印西町が市制施行されること、並びにこれに伴い、印西地区衛生組合及び印西地区消防組合が町村のみで組織された一部事務組合から市町村で組織する一部事務組合となることにより、千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正しようとするため、地方自治法第286条第1項の規定により、千葉県市町村総合事務組合長から協議があったものでございます。

次に、議案第11号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第12号館山市長、助役、

収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、平成5年4月に改定いたしました現行の報酬額及び給料額につきまして、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における給料額の改定の経緯等を考慮いたしまして、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、それぞれ改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第13号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、災害対策基本法等に基づき、災害時に館山市に派遣された国及び他の地方公共団体の職員に対し、その滞在費用を支給するため、災害派遣手当を新設しようとするものでございます。

次に、議案第14号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回収入役の給料と同額にしようとするものでございます。

次に、議案第15号財産の取得についてでございますが、ウエルネスリゾートパーク計画用地につきましては、千葉県地方土地開発公社に対して用地の先行取得を委託し、館山市において地権者と交渉を重ねてまいりましたが、平成7年度に同公社が取得した用地について市が買い取りをしようとするものでございます。取得場所は館山市洲宮字茂塚1008番の2ほか49筆、面積は2万2,206.91平方メートルで、予定価格は7,847万8,800円でございます。

次に、議案第16号財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は、議案第27号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した館山市なぎさ青年館を地元が無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第17号から議案第22号民事調停の申立てについてでございますが、館山市営東市民運動場用地に未登記部分がございますので、登記名義人の相続人等に対しまして所有権移転登記の手續を求める調停申し立てを行うものでございます。

次に、議案第23号安房南部伝染病隔離病舎組合を組織する市町村数の減少

及び安房南部伝染病隔離病舎組合理約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでございますが、安房南部伝染病隔離病舎組合を組織する市町村のうち、三芳村が鋸南地区環境衛生組合に加入することに伴い、当組合から三芳村を除くこと及び組合理約の一部を改正しようとするため、地方自治法第 286 条第 1 項の規定により、安房南部伝染病隔離病舎組合管理者から協議があったものでございます。

次に、議案第 24 号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、他の特別職の職員と同様、本年 4 月 1 日から手当額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第 25 号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国の基準に合わせまして保育料を改定し、教育環境の整備充実と幼稚園教育の振興のため、その活用を図ろうとするものでございます。

改正の内容でございますが、保育料一月につき、現行 4,700 円を本年 4 月 1 日から 5,200 円に改定しようとするものでございます。

次に、議案第 26 号館山市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、豊津地区学習等供用施設の管理については、同施設管理会へ委託を行ってきたところでございます。しかしながら、同施設の利用者が増加したため、より一層の利用者の利便等を考慮し、受付業務等に従事する職員を配置するため、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第 27 号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後 20 年を経過した館山市なぎさ青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集会施設として地元に譲与しようとするものでございます。

次に、議案第 28 号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第 29 号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、今回国の要綱が改正され、ホームヘルパーを利用する場合の 1 時

間当たりの費用の負担額が改められましたので、館山市におきましても同様に改正し、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

改正内容といたしましては、利用者世帯のG階層の1時間当たり費用の負担額を改めようとするものでございます。

次に、議案第30号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額につきまして、他の特別職の職員と同様、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第31号館山市中小企業資金の融資に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、経済環境に対応し、中小企業の振興を図るため、市内中小企業者に対する融資限度額等の改正をしようとするものでございます。

改正の内容でございますが、貸付金につきましては限度額の増額を、貸付期間及び利子補給の限度につきましても期間の延長等をそれぞれ行い、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第32号館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これは非常勤の特別職の一連の報酬改定に伴い改正するもので、報酬額を2万3,000円以内に改めようとするものでございます。

次に、議案第33号市道路線の認定についてでございますが、市道341号線及び342号線の路線を認定しようとするものでございます。

次に、議案第34号平成7年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ6億6,979万4,000円を追加し、総額172億9,708万5,000円としようとするものでございます。

歳出の追加の主なものといたしましては、民生費では、福祉基金積立金208万1,000円、国民健康保険特別会計保険基盤安定繰出金で329万1,000円、産休・育休明け入所予約モデル事業補助金で、私立保育園の保母設置経費補助により1,302万3,000円、館野保育園用地購入費で335万9,000円、農林水産業費では、地先型増殖場造成事業負担金で、県事業費の増により422万

4,000円、土木費では、道路新設改良事業で、土地開発基金で先行取得した土地の買い戻しにより 675万円、県道改良工事負担金で 204万 3,000円、館山港修築工事負担金で 1,011万円、これらは県事業費の増によるものでございます。都市計画道路整備事業で、土地開発基金で先行取得した土地の買い戻し等で 3,001万 1,000円、教育費では、博物館展示資料購入事業で 368万 7,000円、これは文化振興基金で購入した絵画及び新八犬伝人形を買い戻すものでございます。諸支出金では、土地開発基金繰出金で、基金運用利子の増により 191万 7,000円、財政調整基金積立金で 9億 7,600万円、これは国道 410号北条バイパス用地の売払収入を積み立てるものでございます。

次に、歳出の減額の主なものといたしましては、人件費で 3,714万 3,000円、これは、地方公務員共済組合に対する負担金につきまして、当初見込んでいた改定率を下回ったこと等によるものでございます。総務費では、固定資産税土地評価業務委託料で、入札により 1,501万 2,000円、県議会議員選挙費で、無投票により 1,088万 2,000円、民生費では、老人保健特別会計繰出金で 750万 7,000円、これは医療費に伴う支払基金交付金、国庫支出金及び県支出金の増額によるものでございます。衛生費では、南房総広域水道企業団出資金で 7,450万円、水道事業特別会計第3次拡張事業出資金で 3,167万円、三芳水道企業団第2次拡張事業出資金で 3,676万 9,000円、これらは、それぞれの水道事業体の事業費の変更に伴い、出資金を減額するものでございます。農林水産業費では、鮮魚直販施設整備事業補助金で、事業費の減により 596万 7,000円、漁港整備事業で、下原漁港改修事業の国庫補助事業不採択により 9,756万円、土木費では、都市計画道路詳細設計委託料で 1,859万 6,000円、これは都市計画道路船形館山港線の用地測量委託料の減によるものでございます。ウェルネスリゾートパーク用地取得事業では、取得額の減により 1,880万円、館山駅西口地区土地区画整理事業工事請負費で、建物移転交渉が調わなかったことにより 2,969万 4,000円、教育費では、不特定遺跡発掘調査事業委託料で、事業の延期により 159万 5,000円、文化財保存整備事業補助金で 159万 9,000円、これは県指定有形文化財修理費補助で、県補助事業不採択によるものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの補正財源といたしまして、財産収入等を追加し、国及び県支出金、繰入金、市債を減額しようとするものでございます。

このほかに、市道8042号線道路改良事業ほか4事業につきまして、国の補正予算に対応すること等により、年度内の完了が困難となりましたので、繰越明許費を設定しようとするものでございます。また、固定資産税土地評価業務委託料ほか2事業の限度額の変更につきまして、債務負担行為の補正、那古地区生活排水処理施設建設事業ほか11事業につきまして、地方債の補正をそれぞれお願いするものでございます。

次に、議案第35号平成7年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）でありますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ356万1,000円を追加し、総額36億9,893万6,000円としようとするものでございます。

歳出の主なものといたしましては、一般被保険者療養給付費で、診療費の増により329万1,000円の増、歳入では、国庫支出金及び一般会計繰入金を追加しようとするものでございます。

次に、議案第36号平成7年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でありますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ9,762万3,000円を追加し、総額49億3,012万7,000円としようとするものでございます。

歳出の主なものといたしましては、医療費及び受診件数の増によりまして、医療給付費で9,775万円の増、歳入では、支払基金交付金、国及び県支出金等を追加し、一般会計繰入金を減額しようとするものでございます。

次に、議案第37号平成7年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）でありますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ5,635万5,000円を減額し、総額35億5,165万9,000円としようとするものでございます。

歳出の主なものといたしましては、建設費では、污水管渠築造工事で3,820万円の減、これは道路復旧事業費の減によるものでございます。公債費で

は、地方債利子で、借り入れ利率及び借り入れ期日の変更により 1,723万 5,000円の減、これらに伴いまして、歳入では、国及び県支出金、市債等を減額しようとするものでございます。

このほかに、終末処理場建設工事委託料及び汚水管渠築造工事委託料につきまして、国の補正予算に対応すること等により、年度内の完成が困難となりましたので、繰越明許費の設定をお願いするものでございます。また、下水道事業につきまして、地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第38号平成7年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、国の補助採択等に伴う事業費の変更により、資本的収入といたしまして、5億 5,515万 4,000円を減額し、総額23億 9,337万 9,000円に、資本的支出を5億 939万 9,000円減額し、総額25億 1,799万 4,000円としようとするものでございます。このほかに企業債の補正をお願いするものでございます。

なお、この会期中に追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について及び館山市収入役の選任について、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 以上で施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前11時01分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明2日から6日までは議案調査のため休会、次会は3月7日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際申し上げます。行政一般質問の通告締め切りは3月4日正午であり

ますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第1号乃至議案第38号